

広島県におけるキャリア教育の充実に向けて(提言)

平成20年3月 キャリア教育支援会議

具体的な取組み例

●「なりたい自分」をみつける体験的な活動を

学校同士が情報交換しながら、子どもが「なりたい自分」について考えることができるような体験的な活動を各学校で実施しましょう。

そして、成長した姿を学校同士で話し合ひましょう。

●小・中・高の教員同士の研修を

各学校で行うキャリア教育の取組みを持ち寄って、子どもたちの育ちと学びを小から中、高へとつなぎましょう。

●「夢のスケッチブック」づくり

学校は、子どもたち一人一人がキャリア教育において、どのようなことを学び、どのようなことを経験したかなどを記録に残して綴じ込み、「夢のスケッチブック」として記録を重ねていきましょう。

そして、この「夢のスケッチブック」を小から中、高へとバトタッチしていきましょう。



学校間の

学校と社会が力を合わせて

学校と地域との

具体的な取組み例

●地域の大人との触れ合いを

学校は、地域の大人を招く機会をつくり、触れ合いの中から子どもたちにあこがれの大人のイメージをもたせて、「なりたい自分」の姿を具体的にさせましょう。

●語って伝える大人の体験

子ども会や自治会の行事など、子どもたちが地域の大人と触れ合う場を設けましょう。地域の大人は、仕事を通じて楽しかったこと・苦勞したことなどの体験を子どもたちに語りましょう。

●地域の子どもを地域で育てる

地域の中での知り合いを増やし、学校と子どもと大人とのネットワークを広げるために、学校と地域が協力して、それぞれの行事やボランティア活動などに互いに積極的に参加しましょう。



具体的な取組み例



●保護者との研修の場の設定

学校は、PTA総会などの中で、キャリア教育に関する研修の場を設けて、キャリア教育についての取組みを家庭と共有しましょう。

また、学校での子どもの様子や家庭での子どもの様子についても互いに伝え合い、子どもの育ちを支援しましょう。

●子どもたちと語る機会を拡大

家庭では、職場体験やインターンシップなどについて話題にしながら、働くことの意義や将来の目標について、子どもと語る機会を増やしましょう。

●家庭での役割が人に役立つ喜びへ

学校と家庭が協力して、子どもたちに家の手伝いなどの役割をもたせて達成感や成就感を味わわせましょう。

そして、家庭での役割に責任をもつことを通して、社会での役割意識を育てましょう。

学校と家庭との

「ひろしま」の教育をつくろう

学校と産業界との

具体的な取組み例



●職場で伝える職業人の基本

産業界は、職場体験やインターンシップなどにおいて、子どもたちに、時間を守ること・挨拶すること・整理整頓することが、働くことの基本であることを実感させましょう。

●「輝く大人」の秘密をさぐる

学校は、子どもたちが「輝く大人」に出会ったり、産業界について学んだりする機会を積極的に設けましょう。

●「夢のスケッチブック」の実現に向けて

学校と産業界は、職場体験を通して、子どもたちが「なりたい自分」に近づくための具体的な道すじを考えさせましょう。

そして、今できることを計画し、実行することによる充実感を味わわせましょう。